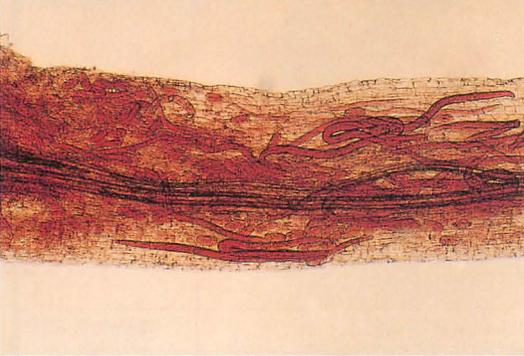


線虫防除の戦略と展望

(西澤 務氏原図)



上：クルミネグサレセンチュウによるイチゴの被害株の根系（左）と、おおむね健全な株の根系（右）
下：被害根内のセンチュウ寄生状況（酸性フクシン・ラクトフェノール染色）

上：サツマイモネコブセンチュウ防除区（右）と無防除区（左）の施設栽培キュウリ（日本植物防疫協会研究所構内にて）
下：甚害を受けた無防除区のキュウリの根系



上：サツマイモネコブセンチュウの甚害をうけた短根ニンジン
下左：サツマイモネコブセンチュウの感染態(第二期)幼虫群（体長約 0.4 mm）
下右：ゴール組織内の雌成虫（体幅約 0.5 mm）と組織外に産出された卵塊（EM）

上：ダイズシストセンチュウが激発して顕著な萎黄症状を呈しているダイズ圃場（つくば市にて）
下：無数の雌成虫（白色シスト）が着生している被害株の根系